



株式会社エルマノ
ホームページはこちらからご覧ください。



LINEde処方箋

LINEのカンタンやり取りで、待たずにお薬をお受け取りいただけます。



下記店舗インフォメーションより、
お近くの薬局のQRコードを読み取って“LINEde処方箋”をご利用ください。

すみれ中央薬局 鎌倉店

鎌倉市笛田 2-1-40
TEL 0467-32-6080
FAX 0467-32-6082



すばる中央薬局 大町店

鎌倉市大町4-3-22
TEL 0467-23-6100
FAX 0467-23-6101



すばる中央薬局 腰越店

鎌倉市腰越4-8-1
TEL 0467-38-1601
FAX 0467-38-1602



すばる中央薬局 笛田店

鎌倉市笛田2-1-34
TEL 0467-73-8255
FAX 0467-38-1831



すばる中央薬局 大船店

鎌倉市大船4-18-6-1A
TEL 0467-48-5855
FAX 0467-48-5836



在宅
専門部門
併設

訪問エリア
鎌倉市全域
藤沢市一部

すばる中央薬局 藤沢店

藤沢市宮前425-7
TEL 0466-52-0955
FAX 0466-52-0966



在宅
専門部門
併設

訪問エリア
藤沢市南部
北部一部地域
鎌倉一部地域

すばる中央薬局 湘南台店

藤沢市湘南台2-26-17
TEL 0466-44-8935
FAX 0466-47-6888



在宅
専門部門
併設

訪問エリア
藤沢市北部
泉区、戸塚区、綾瀬市、
海老名市の一部地域

すばる中央薬局 星川店

横浜市保土ヶ谷区星川2-3-22
みゆきコーポ1号室
TEL 045-333-1880
FAX 045-333-1881



ニコニコ薬局 茅ヶ崎本村店

茅ヶ崎市本村4-22-23
TEL 0467-39-5204
FAX 0467-39-5304



処方箋を撮影

お客様

友達登録ができましたら、スマホのカメラで処方箋を撮影してください。

処方箋を送信

お客様

撮影した処方箋の画像を送信してください。

処方箋を確認

店舗

こちらで処方箋を確認しましたら、メッセージをお返します。

完了のご連絡

店舗

お薬の準備ができましたら、完了のメッセージをお送りします。

お薬の受け取り

お客様

完了のメッセージが届きましたら、ご来店いただき、お薬をお受け取りください。

ご利用
方法

SUBARU PRESS

すばる通信 10

発行日 2022年7月1日
発行元 すばる中央薬局 大船店

THEME

お薬の数、適切ですか？



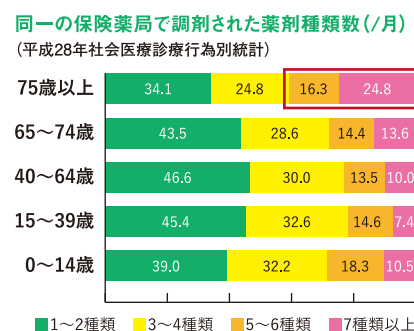
「ポリファーマシー」という言葉を耳にしたことはありますか？

あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、実は最近医師や薬剤師の間で注目されています。ポリファーマシーを改善することで患者様の薬の副作用を減らしたり、医療費削減にもつながります。この冊子で、少しでもポリファーマシーを身近に感じていただければと思います。

ポリファーマシーは「Poly（多くの）」＋「Pharmacy（調剤）」の造語です。

高齢者では薬の数が増えてきます

統計学的に高齢者では薬の数が増える傾向があります。高齢になると、複数の持病を持つ人が増え、受診する医療機関が複数になることで処方される薬も多くなります。75歳以上の薬を服用している高齢者の4割は5種類以上の薬を使っているといわれます。



薬が増えると副作用がおこりやすくなります

高齢になると肝臓や腎臓の働きが弱くなり、薬を分解したり体の外に排泄するのに時間がかかるようになります。また服用する薬の数が増えると、薬同士の相互作用（飲み合わせ）により悪影響がおこる可能性が増加します。そのため薬が効きすぎてしまったり、効かなかったり、副作用が出ることもあります。

高齢者でおこりやすい副作用

☒ 食欲低下 ☒ ふらつき・転倒 ☒ 排尿障害 ☒ 便秘 ☒ 物忘れ ☒ うつ傾向 ☒ せん妄
（※せん妄…頭が混乱して興奮したり、頭がぼーとする症状）

薬の種類や数が変更になって、このような症状が現れていたら、もしかしたらポリファーマシーによる副作用かもしれません。ただ気になる症状があったとしても、勝手に薬をやめたり、減らしたりするのはよくありません。何が原因なのか調べる必要がありますし、薬を急にやめることで症状が悪化したり、思わぬ副作用が出ることもあります。自己判断で薬をやめずに、必ず医師や薬剤師に相談しましょう。いつ頃から、どのような症状が出てきたのか、気になる症状についてメモをしておく、と、相談するときに役立ちますよ。

たくさんの薬＝多剤併用とも訳されますが、単に服用する薬が多い状態ではありません。

必要以上の薬を服用しているために副作用をおこしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をポリファーマシーと言います。

何種類以上の薬を服用すればポリファーマシーとなるという定義はありませんが、薬が6種類以上になると副作用が起こりやすくなると言われています。

適切なお薬を、適切な分量で。

不必要な薬を増やさないために

かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師を見つけましょう

かかりつけ薬局とは、受診している医療機関ごとに別々の薬局で薬をもらうのではなく、どの医療機関を受診しても同じ薬局に処方箋を出して薬をもらうことです。

そうするとあなたの服用している薬のすべてを管理してもらえますから、薬が重なっていたり、飲み合わせの良くない薬をいち早く把握できます。

更にかかりつけ薬剤師を持つこともできます。

かかりつけ薬剤師は、薬に関することや健康についての心配事の相談を、処方箋を持参しなくても応じてくれ、いつでもサポートしてもらえます。また医師とも連携しているので、医師に聞きにくいようなことでも、薬剤師を通して健康相談ができます。

お薬手帳を活用しましょう

①お薬手帳を1冊にまとめる

受診している医療機関ごとにお薬手帳を分けている方もお見掛けしますが、お薬手帳は一人1冊が原則。かかりつけ薬局がなくてもお薬手帳を1冊にしておくことで、あなたの現在服用中の薬の状況が医師も薬剤師も把握できます。

②お薬手帳にメモを書き込む

薬を飲み忘れてしまったことや、薬を服用した後、体調が悪くなった等メモを書き込んでみましょう。医師や薬剤師に薬のことを相談するときに役立ちますし、お薬手帳に記入したメモがポリファーマシーの回避につながることもあります。

処方カスケードについて

薬を服用することで有害事象が起きているのに、新たな症状だと思い別の医療機関を受診してまた新たな薬をもらってしまう。これを繰り返すことをいいます。

例：認知症の薬を服用中、尿失禁が多くなった。泌尿器科を受診し頻尿治療薬を飲み始めた。最近なんだかわけのわからないことや暴言を吐くようになり、夜も寝てくれない。心療内科にかかり睡眠薬をもらうようになった。夜間寝てくれるようになったが、足元がふらつくようになって困っている。認知症の症状が進んだのかと思って、薬による有害事象が引き起こしたポリファーマシーだった。薬を適切な量に変更したことにより、大半の症状は消失した。



新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う医療機関の電話再診を受けられた方へ

電話再診した医療機関から処方箋を送る薬局を聞かれますから、いつもの（株）エルマノの薬局名をお伝えください。処方箋が送られてきましたら、お薬をご用意いたします。薬局へ薬を取りに来ることが心配な方はご連絡ください。薬をご自宅へ宅配にて郵送いたします（送料は患者様負担となります）代金は銀行振り込みでお願いしております。

お薬到着後、薬剤師より薬が届いたかの確認と、体調やお薬についての説明を電話にて致します。（2020年4月10日付で発出された「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の限定的・特例的などりあつかいについて」による臨時的措置のためこの措置が終了となっている場合があります）

（株）エルマノの薬局全店で、医療機関に通院せず、電話で診療をした方の処方箋の取り扱いを行っています。